



### 三宅 眞

#### 農地保全を軸とした 狛江市の未来像

**問** ①緑が少ない狛江市において貴重な「生産緑地」が減少傾向にあるが市の見解は②狛江市農業に関する市民意識調査で市民の農地減少に関する意識は③民間活力導入による農地保全について市の見解は。

**答** ①減少を食いとめることは大変厳しい状況。制度上の限界があり抜本的な対応が必要であると考えている。②8割弱の方が「できるだけ多く残してほしい」と回答。③他市の状況等を調査・研究。

#### ごみ行政について

**問** ①高齢者を対象としたごみ出し支援事業、身守りや安否確認といった福祉サービスの発展的拡充の進捗は。②資源物ごみ集団回収に関して市としての取り組みに取り組まれるのか。

**答** ①ごみ出し支援事業利用者への安否確認については既に実施しているが、支援対象者はいない。②集団回収の制度と活動内容を周知し、実施団体増加のために要件の緩和を実施する。他に、18歳になったら選挙に行きましようを質問



### 太田 久美子

#### 認知症と向き合い、 事故を防ぐためには

**問** ①認知症サポーターの考え。②子供や更生施設にもサポーター養成講座を。③認知症拠点病院となつた慈恵第三病院の役割

**答** ①認知症支援事業への活用検討②サポーター養成講座を開催③専門医療機関、地域連携推進機関と人材育成機関としての役割

#### 市民ニーズを捉えた 選択と集中

**問** ①予算編成と行革の整合の取り組み。②予算編成で市民ニーズを踏まえた選択と集中。③保育園民営化に伴う職員適正化の考え。

**答** ①予算編成の中で調整。②行政評価やヒアリングを通じて確認し、予算編成の中で調整。③今年度中にお示ししたい。



### 栗山 剛

#### 道路整備について

**問** ①市道の道路修繕計画の進捗状況は。②都市計画道路の現況と今後の整備見込みは。③東京外環道の市への影響は。

**答** ①目標値の約16%の進捗。②一部が整備済み。新整備方針を検討中。③生活道路の安全性の向上や災害時の機能確保等。

#### 災害時の対策について

**問** 徐々に自衛隊との関係ができていくと感じているが、市長または市と自衛隊との連絡体制は現在どのようになっているのか。

**答** 防災会議等の委員に自衛隊によるふれあいコンサートを実施。顔と顔とが見える関係を構築しつつある。



### 石井 功

#### 人口減少と 今後の狛江のまちづくり

**問** ①中期の(2040年)な人口をどのように推測するか。②住宅用地と非住宅用地割合の比較(調布市、三鷹市、武蔵野市、西東京市)。③まちづくりは財政的、面的にも制約がある。アイデアが必要だが。

**答** ①2040年には約7万3000人の見込み。②狛江市は、比較する4市に比べ住宅用地の割合が高い。③狛江市の特徴を生かしたアイデアや知恵が必要であり、総合戦略の中に盛り込む。

#### 災害時の課題

**問** ①総括的に和泉多摩川緑地が都立公園化されたとき、災害時にはどのような役割を果たすのか。②世田谷通りは道路啓開路線だが、狛江市域の世田谷通りの瓦れき処理などどこが行うのか。

**答** ①ライフライン復旧・復興活動の拠点、帰宅支援、広域受援等の役割を果たし、狛江市民を含む多く都民の首都直下型地震等の災害対策の強化に寄与。②都が行うものであるが、状況により市と連携する。



### 山田 たくじ

#### 団地コミュニティの 活性化について

**問** ①市内大規模団地の少子高齢化の現状②少子高齢化の影響③市の対策・取り組み・課題④都やUR都市機構との連携の可能性

**答** ①65歳以上は約47%、20歳未満は約9%②コミュニティ活動困難③交流会や助成金④世帯向け住宅の積極的な推進を要望。

#### フードバンク(FB) について

**問** ①フードバンクとは②メリットは③当市における現状と行政のかかわり④生活保護との関係⑤国や

#### 都の支援⑥課題は。

**答** ①喫食可能廃棄食品を生活困窮者に届ける活動②食品ロス削減等③活用中、協働事業④対象外⑤立上げ支援が重要⑥環境整備

#### かわまちづくり(多摩川 河川敷の有効活用)

**問** ①バーベキュー禁止後の動き②包括占用について③今後について(予定・課題)④国・都・他自治体との連携いかん。

**答** ①多摩川河川敷環境保全区域拡大②土地利用方針があつて行う③市民協働事業としての取り組み推進④連携、協力を進めたい。



### 辻村 ともこ

#### 特色ある公園から まちづくりを

**問** ①特色ある公園の検討を。②新能復活の市長見解は。③公園マップ古過ぎる。新規作成を。④市HPへ公園情報新規設置を。

**答** ①特徴に応じ検討。②課題を解決しながら検討したい。③なるべく早い時期に対応する。④御指摘のとおり、検討する。

#### 狛江の子供は宝。学校支 援ボランティア導入を

**問** ①学校支援ボランティアアとは。②育成委員、PTAなどとの違いは。③地域力向上による放課後学

#### 習支援を優先的に対応を。

**答** ①地域の力を学校運営を単位として地域の個人が支援するもの。②ニーズは高いと認識、検討したい。

#### 子育てサイト

**問** ①職員、委託会社、市民委員の努力でよくなっている。外部評価委員会の指摘内容は。②外部の目を入れ検証が必要。検討を。

**答** ①情報提供しなければならぬサイト以外の廃止も視野に、一方でニーズの高いサイトは充実強化を。②今後の研究課題。



### 谷田部 一之

#### 愛する狛江、未来のために まちづくり(パート3)

**問** ①日本一安心で安全なまち狛江こままでの達成率は②多摩川グラウンドの整備は③多摩川河川敷を利用している団体の用具等の保管場所の設置は④フットサルを小学校体育館で利用して利用できないか

**答** ①8割くらいと思つている。②降水後の水はけの悪さや夏の時期の除草等が必要なのは認識。定期的な整備をしながら改善を図る。③要望等を聞き調整・検討していく。④校長会へ検討を依頼する。

#### 特別支援教育について

**問** ①中学校における通級在籍者数は。②小学校に比べ中学校の通級利用者が少ない要因は。③今後どう支援していくのか。④計画の内容や時期は。⑤都の計画中学校特別支援教室モデル事業に応募するのか。

**答** ①8名②通級負担が大きいこと、制服の違う学校へ通うことへの抵抗感、課題克服等による③小学校と同様の特別支援教室を実施④二中から他中学へ巡回28年度中できるだけ早い時期⑤積極的に応募。

#### 待機児対策について

**問** ①待機児ゼロに向けた保育施設整備計画について。②計画の前倒しについて。③場所の確保、保育士の確保・育成について。④放課後児童健全育成事業の確保について。⑤小学校の教室の確保について。

**答** ①平成31年度までに保育定員516名増を計画②努めていく③宿舍借上支援事業を予定。公私立で連携、市全体で人材育成④学校施設活用等教育委員会と連携⑤改修等による普通教室への転用で対応。

#### ラ・フォル・ジュルネ音楽祭 について

**問** ①現在までの進捗状況について。②実行委員会のメンバー構成について。③開催方法、スケジュールについて。④開催内容について。⑤開催にあたっての課題について。⑥開催に向けての意気込み。

**答** ①市長自ら調整、職員による視察等を行い実行委員会を実施②観光協会等③8回程度開催④駅前一体が音楽にあふれるイベント⑤どのように狛江らしさを出すか⑥市長自身先頭に立ち成功に向け取り組む。